

4000 名山記 2011年

1/8(土)東京西部 4 山 晴れ今熊山山頂 13:40 「刈寄山」同 14:25 「市道山」同 15:50 「臼杵山」同 16:40 13:15~20:10(6:55)出発遅れ、今熊神社より縦走往復。里山で歩き易かったが、くたびれた。1/9(日)晴れ横須賀・鎌倉等 6 山「大楠山」6:45~7:00(0:15)測候所よりすぐ往復。朝日を拝む。展望よし。「鷹取山」7:50~8:10(0:20)公園口より往復。岩登りのメッカ。「鎌倉アルプス」9:10~10:05(0:55)瑞泉寺口より往復。ファミリー向け。「高麗山」11:45~12:40(0:55)学習センターより往復。高麗 3 峰を回る。「不動山」14:05~14:25(0:20)道わからず探し、三角点で確認。「矢倉岳」15:35~17:05(1:30)万葉公園よりピストン。急いで明るいうちに戻る。眺めよし。1/10(月)晴れ関東西部 4 山「高尾山」4:05~6:05(2:00)ライトハイク。参道は初詣の明かりを独り占め。5:30 の鐘音に感謝。誰でもいける山。「景信山」6:35~8:40(2:05)小仏より峠を経て往復。山頂の食堂はどうかな。眺めよし。「城山」9:20~10:20(1:00)公園より往復。山城跡でファミリー向け。「仙洞寺山」12:00~12:40(0:40)霊園より「さがみの森ルート」の案内とテープに助けられ往復。

1/22(土)埼玉西部 4 山 晴れ「四阿屋山」9:40~10:45(1:05)林道終点よりピストン。急登・岩が面白い。「秩父大岳山」11:20~14:00(2:40)三峰口より往復。植林ばかりのなだらかな歩き。頂上は神社。「武川岳」頂上 16:25「大持山」同 17:30 15:05~19:00(3:55)林道閉鎖で、林道から歩き妻坂峠より各々ピストン。整備された急坂と秩父の夜景を楽しむ。下りはライトを点灯。

2/11(金)埼玉西部・横浜 2 山「蕨山」15:15~17:20(2:05)名郷より往復。雪あり。「円海山」22:15~23:20(1:10)明日の天候不明のため、移動しナイトハイク。2/12(土)神奈川西部 4 山「石老山」7:05~8:55(1:50)神社より往復。巨岩は趣きあり。「石砂山」9:35~11:05(1:30)牧馬峠より往復雪を払い、くだりは滑るように下山。「陣場山」山頂 11 時、「生藤山」同 15:30 11:50

2/12 11:50~19:00(7:10)雪で林道は途中で通行止め。林道を歩き、和田峠よりそれぞれをピストン。陣場山は山頂に売店営業し登山者もいて人気の山。生藤山は、長駆でほかに 4 山含め縦走ピストン。雪の吹き溜まりの登りは苦勞。下りは駆け足で、18 時よりライトつける。

2/26(土)晴れ富山西部 1 山 砺波山(倶利伽羅山)11:00~14:00(3:00)2/27 のやまゆき会例会の上高地トレッキング参加(雪の上高地も良いですよ)のため遠征。好天でや

わ雪となり苦戦しながら源平合戦地を歩く。なだらかなハイキングコース。
突然ですが、4月より横浜へ異動となり、およね会のメンバーと一緒にの山行は限られ
そう残念です。3/14(月)例会でしたらおよね会に顔が出せるかもしれません。

3/20(月)山形・高島1山「小湯山」13:05～15:55(2:50)曇り主要道に車を止め、尾根ル
ートを探して往復。やわ雪のため長靴がずぶずぶ入り苦勞。ガソリンはたまたま開いて
た給油所で給油でき安心して山行。東北大地震で被災した方々に何が出来るか？私
は①4000名山(東北もかなり残っております)の歩きを継続し自然の良さ・厳しさを伝え
ること②1山登る毎に社会に千円を寄付することで「ガンバレ東北」を支援していきます。
皆様のアドバイス等頂ければ幸いです。

・4/1(金)横浜に移動します。山スキー道具を中古で更新し八甲田連峰に行きたく、高
速でガソリンが給油できれば明日にでも行きたいのですが？

横浜より第一弾。丹沢山系5山 4/16(土)晴れ 相模原「焼山」15:55～18:25(2:30)神
社より登山口に入り、通行止に駐車しピストン。今日は暑い日で登りは半袖。山頂の展
望台からの眺め良し。4/17(月)晴れ鳥尾山登山口より周回。5:25～16:10(10:45)山
頂「三ノ塔」6:55「塔ノ岳」8:50「鍋割山」10:05「檜岳」11:50 丹沢南部を縦走。関東
地区の登山基地で、山小屋が整備され、人も多い。全般になだらかだが崩壊も進んで
いる。

4/19(日)日光連山2山「宿坊堂山」山頂 8:10、「黒檜岳」堂 12:20 日光赤沼車庫よ
り低公害バスで西ノ湖入口下車。柳沢林道を登り、柳沢川を第2堰堤から渡渉し目印
を見つけて、それを目安に急坂を上り、緩やかなところでみ目印を見失ったが、無事
目印を探し、いつの町か山頂へ。やはり縦走路があり、目印がついていた。道が不明
な山だが、藪はなく、目印に助けられ無事往復(誰にも会わず)。千手ヶ浜までの原始
の森を堪能し、中禅寺湖に出て黒檜登山口より往復。やしおつつじの花の落下と石楠
花の可憐な花のなかを急坂・なだらかな坂うを経て山頂へ。上層の分岐より本来の山
頂はおくに三角点あり(結構ハイカーおおいが山頂の展望はなし)。湖沿いのクリソウ
のあざやかな花に見せられ観光客が押し寄せ、帰りはバスを少し待ち、臨時のバスで
車庫へ。車中から戦場ガ原の貴婦人(ダケカンバか白樺)が見れて満足。夏風邪にや
られ先週中ころより体調不調。休日千円最後の土日と思い少し遠出したが、無理すぎ
たようで、月曜から金曜まで咳鼻水に悩まされ、体調管理はもう難しいかな。今も鼻水
と咳に悩まされながら記載しています。次週岩手山へ行けるかやや不安。天候次第と
云えるよう体力の回復に努めます。是非会長の岩手山登山をお手伝いしたい。

4/24(日)丹沢西部2山 晴れ「シタンゴ山」山頂 13:10、「高松山」同 15:00 12:15～

17:30(5:15)運動場より周回・縦走。丹沢の西のはずれで人は少なく軽快に歩く。新緑と里山の桜を楽しむ。GWは、上越・会津の残雪期しか行けないところを予定。天候次第ですが

4/29(金)群馬沼田晴れ 13:35～17:45(4:10)「迦葉山」山頂 14:25「尼ヶ禿山」同 15:50 GW で出遅れて渋滞に巻き混まれ近場のみ。弥勒寺より往復縦走。岩が面白い。尼ヶ禿は残雪あり、なだらかでハイキングコース。4/30(土)中越で道を間違え途中撤退。天候もくずれ納得。

4/3(火)新潟 1 山「鼓ヶ倉山」11:45～15:10(3:25)GW シリーズ。渋滞あり、身近な道のない山。泣き沢口より残雪を見て往復。全般になだらか。駐車場無く待避所に車止め、小出トンネルを往復 1 時間。

5/4,5 新潟中越 2 山、長岡 1 山晴れ「猿倉山」山頂 14:00「横山」同 15:55 1 日目 4:30～21:10,2 日目 3:20～9:10(延 22:30)念願の奥只見・村杉半島縦走ピストン。奥只見スキー場より上大島橋村杉岳、大川猿倉を経て往復。途中藪で体力消耗し、急遽帰りビバーク。寒さに震えたが無事下山。体力はバテバテ。「鋸山」16:00～18:20(2:20)長岡近郊のハイキングコースを往復。

5/5,6 新潟中越藪山 2 山、下越 2 山 「毛猛山」山頂 14:05、「桧山」同 16:35 1 日目 6:00～19:30、2 日目 5:40～9:00(延 16:50)国道冬季閉鎖で道路歩き、東電につり橋を渡り、足沢山、百字ヶ岳より 2 山をピストン。途中地元山岳会に手入力で道筋あり、かなり助けられる。天候晴れで暑さを何度もふきふきで冷やす往復。

5/6,7 続き 下山時 19:30 で暗く足沢山より道を間違え別の沢に。急斜面でおかしいと 2 度引き返したが、3 度目に強引にくんだり急傾斜の雪面で滑り 2 度滑落。よく止まったなを自然・神様に感謝・運を使ったな思う。急遽ビバークし寝袋・ツェルト利用。翌朝地図と山容を確認し原点の足沢山に戻り、間違えた道に戻り無事下山。「弥彦山」(1:00)「国上山」(いずれもハイキングコースで運動靴で往復。

5/15(日)西丹沢 2 山晴れ「大野山」7:40～7:55(0:15)牧場上の駐車場より散策。丹沢湖、雪の富士山等眺め良い。「桧洞丸山」9:10～13:00(3:50)西丹沢自然教室よりつつじ新道を往復。緩やかな山で山頂は桜が満開でその背景に映える富士山も絶景。登山者多く、人気のある山。

5/21(土)栃木北部 2 山晴れ「明神ヶ岳」10:15～13:30(3:15)道がない藪山とのことで山行案内にあった湯西川近くの滝倉橋より念願の山を往復。残雪を助けに歩こうとし

たが、雪はまるでなし。テープの案内としっかりした道ができており、栃木 100 山を愛でる地元の方に感謝。急坂を上り、尾根伝いに歩き、山頂直下の急坂を登り山頂へ。展望は霞ががり今ひとつ。誰一人会わない静かな山。「鶏頂山」15:35～18:30(2:55)元のスキー場駐車場より往復。遅い時間だが下山した 1 組の夫婦と言葉を交わし歩く。なだらかな山で鶏頂山は、平家ゆかりの神聖な山。御岳山まで足を伸ばしたが、以前別ルートで登った釈迦ヶ岳には時間足りず、無理せず下山。かつて滑った事のある閉鎖されたスキー場の跡が痛々しく夢の跡のように悲しい。

6/4(土)晴れ山梨東部 1 山「赤鞍ヶ岳」14:35～16:45(2:10) 予定した山は登山口分ならず、(夜行バスに乗るため)近くの道志村役場より大急ぎで往復。新緑と涼風が心地よし。頂上展望きかず。

・6/5(日)大阪 2 山「蘇鉄山」山頂 7:20 一等三角点のある日本一低い山標高 6.96m 「天保山」山頂 8:40 二等三角点日本一低い山標高 4.53m。いずれも天保年間に浚渫により作られた由緒ある山(「やまゆき会」95 周年式典参加前に歩く)。

6/11(土)日光連山 3 山曇り 10:55～17:15(6:20)「金精山」山頂 11:45「温泉ヶ岳」同 13:05「根名草山」同 14:55 金精峠トンネル口より周回。石楠花が見頃。峠に出て金精山はすぐで急斜面のところは崩れつつある。峠に戻り温泉へ。藪山で道探しに苦労すると思いきや標識と道がしっかりしていて頂上からの眺め最高。燧ヶ岳、男体山等。ショートカットで無理して笹藪を下り登山道に出て根名草へ。途中の避難小屋は新しく一休み。アップダウンを繰り返し残雪の上を山頂へ。山頂は、なだらかなところで誰にも会わず下山。静かな山でした。

6/12(日)日光白根奥 1 山「錫ヶ岳」5:10～14:30(9:20)晴れのち曇り昨日と同じ金精トンネル口より往復長駆。峠に出て日光白根山を取り巻くように尾根を歩き、標識と道跡を辿って進む。笹と残雪等で道を見失いながらも無事はるかなる山頂へ。山頂から男体山と中禅寺湖の展望良し。下りの白根隠山で初めて人に会った地元の夫婦と山談義。調査不足で錫ヶ岳の奥にあと 1 山(宿堂坊山)あることをあとで知りがつくりきたが、体力的には限界。また別途考えよう。

6/18(土)新潟中下越 2 山「金城山」8:50～12:30(3:40)水無沢ルートを往復。残雪期上る予定の山の下見にきたが、崩壊等で目標の十字峡まで車入れず、やむなく近くの山へ。周回予定が登りが厳しく 8

合目より予報より早く本格的な雨。山頂は展望もよいが、どしゃぶりの雨の中で期待していた残雪期上る予定の藪山は見えず、非難小屋で一休みご雨の中を着た道に戻り、

五十沢温泉で温まり、夕方もう 1 山。「角田山」曇り 17:40～19:05(1:25)ファミリー向けの山。水・自然・展望もよいはず。山頂視界不良。

7/10(日)西東京 1 山「御前山」12:25～16:10(3:45)晴れのち曇り 小河内ダムより往復。梅雨があげ、暑い中出足遅れる。ブナ林と涼風が心地よい山。頂上は展望は今ひとつ。途中奥多摩湖の眺め良し。

7/16(土)八丈島 2 山 夜行フェリーで竹芝栈橋から出て底土港から一路急いで「三原山」へ。登山口の自衛隊無線基地より往復。9:30～12:20(2:50)階段を登り、少し藪気味の登山道を歩き山頂へ。山頂の反対側には、山頂下に道が見え、誰にも会わなかったことを見るとマニア向けの山か。山頂からの港の展望良し。帰りを心配し急いで街中へ下山。暑くて体力的に厳しいためタクシー会社まで行きは「八丈富士」登山口まで。13:35～15:20(1:45)前半で体力を使い果たし、スローペースで登り、何とか山頂へ。曇りで展望今ひとつだが、火口が見られ満足。かお鉢めぐりできる時間と体力なく下山。火山の島らしく山頂近辺等溶岩が多かった。空港への直通ルートが藪で通行できず、急遽一般道を九項へひた歩き。暑さも加わって大変だったが無事空港から羽田へ戻る。

7/17(日)晴れ日光連山 2 山「燕巣山」山頂 13:35「四郎岳」同 15:25 丸沼登山口より周回往復。11:30～17:05(5:35)出足が遅れ昼近くにスタート。四郎峠まで沢沿いを楽しみながら歩き、峠よりそれぞれの山を往復。燕巣は急坂をゆっくり歩き、高地で避暑にきた気分が涼風等に癒される。山頂から眺望は今一つ。反対側の四郎も同じで東電の管理している標識柱に感謝しながら急坂を上り山頂へ。山頂からの眺めは、日光白根山等最高。涼風に和みながら夏山を満喫し下山。

7/18(月)日光連山 2 山晴れのち曇り「大真名子山」3:45～8:25(4:40)あまり寝付かれず、湯元より志津峠へ出て月明かりとライトを頼りに登山開始。日の出は山頂では叶わず、8 合目で朝日を拝む。山頂は神社で信仰の山。360 度の展望良し。えいといついでに小真名子山へ。一度鞍部に出て上り返し山頂へ。天候・展望とも文句なく良し。来た道(シラビソ林)を戻り下山途中ににぎやかな音。ラジオの音で登ってくる人に「なでしこジャパン」はと聞くと勝って優勝したとのことで思わず拍手。記念の登山となり感謝。「社山」9:35～14:05(4:30)晴れのち曇り半月山駐車場より峠二つを超え往復。登りから暑さで足が進まず。日差しの強さに参り、ゆっくりと半月峠、中禅寺山、阿世湯峠を経て日のあたる尾根筋を山頂へ。下りは雷鳴を聞きながらも雨に当たらなかつたが、暑さと体力の消耗等でバテバテ。無事駐車場に着くと少し元気を取り戻す。睡眠・体力不足の夏山でした。

7/24(日)西丹沢 3 山曇り「加入道山」山頂 12:40「大室山」同 13:40 道志温泉口より往復。11:15～16:15(5:00)出足遅れて曇り空の中、夏の強い日差しなくなだらかな山を軽快に歩く。沢筋から尾根に出ると加入道山頂上広く平らだが、ガスで展望なし。アップダウンを繰り返し大室へ。苔むしたブナが多い、花は下野草があり。大室山の山頂も平らだが、虫多く戻って人心地ついて下山。雲等で視界がなく沢やがればを慎重に下山。「菜畑山」電波等の登山口まで車で上るとすぐの山。17:00～17:45(0:45)登山口より急坂を上ると山頂。雲で視界なし。縦走路あるも、体力足りず下山。

7/25(月)夏休曇り時々晴れ 山梨東部 3 山「鳥の胸山」グリーンロッジ口より往復。4:55～6:30(1:35)植林地の急坂を登ると涼風と朝日が心地よし。山頂は平らで、富士山の眺めよし。くだりは軽快。「今倉山」山頂 7:55「二十六夜山」同 9:30 道坂トンネル口より周回。7:00～11:20(4:20)カラマツ植林のなだらかな坂を登り今倉山頂へ。山頂展望なし。縦走路を松山(赤岩)の絶好の展望を経て、ブナとナラの懐かしい林を楽しみ、林道を経て二十六夜山へ。いわれのある山に登れて満足。展望よし。戻りは来た道に戻り、赤岩を経て沢コースを下り、ガレ場と沢水を楽しみ、林道に出て戻る。時間はあったが、2 日共道志温泉でゆったりとくつろぐ。

四国編 7/30(土)石鎚山系 1 山、愛媛南部 4 山曇り時々晴れ「筒上山」5:05～9:10(4:05)土小屋口より周回 静かな大樹のある森を横切り、尾根筋より入るが笹が藪化して掻き分け道を探して山頂へ。朝日と展望のよさに感謝。急な岩場を下り修行場を経て山をトラバース。原生林が見事で石鎚山系は癒されることを実感。石黒山を経て下山。笹露で靴等びしょ濡れ。靴も濡れて意欲を喪失しドライブ登山へ。四国カルスト「笠取山」山頂 11:30(往復 0:25)「大川嶺」同 11:50(0:25)両山とも牧場跡の丘陵地で車からすぐ。トラの尾、フウロ見頃。「大野ヶ原」山頂 13:55(0:45)牧場脇の丘陵地。眺めよし。「中津明神山」山頂 16:33(0:05)林道が山頂まであり。雲で展望利かず残念。

7/31(日)石鎚山系 1 山曇りのち晴れ「二ツ岳」5:30～12:20(6:50)石鎚林道に入り、途中から歩く。一般ルートと違うところをきたと後でわかる。高瀑の滝の入り口より沢沿いに登り滝の雄大さに圧倒され、ここまで来て良かったことを実感。案内図で右を巻くことを知り、急な斜面を木、ロープ、目印を頼りに登ったと思ったらあとは笹の続く急斜面。笹の下を道を探りつつ笹を驚掴みに進む。飽きて来た頃に石鎚山からの尾根筋に出て、同じく笹を掻き分け山頂へ。山頂で反対側からの道は笹もなくすんなり来れることを知り愕然とした。頂上からの石鎚山系の眺めはこの上ない。来た道を慎重に戻る。全国でも屈指の高瀑の滝が拝めて大満足。林道の虻と蜂の群れには耳を沢山刺され

閉口。沢筋からの原生林も石鎚ならではの優雅な時を過ごす。

8/7(日)「前穂高」1 山 沢渡よりタクシー相乗りで釜トン開門(5 時)と同時に入る。上高地岳沢コースを周回。上高地 5:25～岳沢ヒュッテ～紀美子平～奥穂高山頂 9:45 下山 10:25～紀美子平 11:30～前穂高山頂 12:15～紀美子平経由で上高地 16:25(11:00)バスで沢渡に戻る。8/5,6 やまゆき会 95 周年行事で常念岳・蝶ヶ岳を縦走。負傷者の荷物運びのサポートした反面、メンバーが滑落で顔等負傷し周りのハイカー及び蝶ヶ岳の診療所で名古屋医科大学の先生方に手当てしていただき無事下山でき周りの皆さんに感謝。穂高温泉郷(8/6 泊)より 2:35 スタート。二戸の T さんの 100 名山の 99 山目の奥穂高に少し遅れたが山頂に無事間に合い祝う(5 名)。岩場がほとんどの山で慎重に登り、下り。前穂山頂は広い岩場。山頂を下ると大雨・雷に合い、沢筋は滝のような流れで圧巻。ハード過ぎる歩きでした。7/31 山名訂正「二ノ森」

8/23(火)夏休み。折角の 5 連休が雨で動けず最終日に山梨東部山中湖周辺 4 山「三国山」8:15～9:05(0:50)東登山口より往復。火山灰地の登山道で山頂平らで広がったが、霧で視界なく雨にも降られず。「高指山」9:30～10:15(0:45)天候回復。平野登山口より往復。ススキ野原の頂上が山頂。山中湖が見え、展望良し。「石割山」10:40～12:20(1:40)石割神社口より神社を経て山頂往復。石段 403 段には圧倒され、神社の大きな岩にも魅せられる。山頂は一瞬山中湖が見えただけで雲の中。花が見頃でした。「菰釣山」丹沢西部 13:05～18:00(4:55)山伏峠よりトンネルを抜け登山口より縦走路を往復。秋風が心地良く、視界のない雲の中をタンタンと歩く。山頂付近のブナ林良し。雷が始終なっていたが幸い雨に当たらず、誰にも会わず、山を一人堪能しました。

8/27(土)山梨東部 2 山「明神山」8:10～9:40(1:30)前回抜けていた山を小雨の中三国峠より往復。鉄砲木ノ頭という別名が見当たらず縦走コースをさらに進み、下りばかりなので引き返し明神山山頂を散策。なだらかな丘で霧の中、山中湖方面の斜面を見て満足。「不老山」11:25～13:35(2:10)登山口が分からず、おやまの道の駅で案内をもらい、金時公園奥の林道終点の登山口より往復。最初林道を歩き、尾根筋に入り、霧が粒となった雨が時々気になったが、雨具を着けず戻る。山頂はなだらかな丘で格好のハイキングコース。杉・ヒノキの植林が多く、登山路も荒れかけている。頂上霧で視界なし。

9/3(土)雨 丹沢山系 1 山、箱根 2 山 台風の影響がある中強引に出かける。「鐘ヶ岳」9:05～10:25(1:20)トンネル側林道ゲートより往復。トンネル手前の急な岩場を登り尾根筋へ。尾根に到着すると足が痒く蛭が群がる。急遽長靴を脱いで蛭の撤去。幸い今日の蛭は膝裏を中心に 10 数匹程で血を流しながらも何とか取り除き、かけ足で山頂

へ。山頂は平らなひのきの植林地。雨はパラパラ程度だが風があり、早々に下山。「明星ヶ岳」山頂 18:25「明神ヶ岳」同 20:00 明神平別荘地最奥より周回 17:30～21:30(4:00)箱根に向ったが台風の大雨で車中待機。夕方小降りのとき出発。尾根までは小降り。尾根から雨脚が強くなり、なだらかな丘の明星に薄暮到着。分岐まで戻り雨が降り続く中を明神へ。途中ライトが消え電池を交換。雨と闇で視界狭くゆっくり山頂へ。山頂は平らで風・雨で視界不良。何とか山頂確認したが、下山ルートに迷う。道探しに冷や汗。30 分放浪。下山の目印を見つけ下る。途中木に激突・大雨等ずぶぬれになりながらも無事登山口へ。台風が過ぎて雨が上がると期待したが甘い判断に反省。

9/10(土)山梨東部 2 山 車の点検・バッテリー・タイヤ更新で出遅れ中秋の名月にあわせナイトハイク。「土俵岳」18:40～20:40(2:00)猪丸口より日原峠を経て往復。登山口はものすごい蒸し暑さの中地元の人に道を聞いてスタート。所々名月を仰ぎ平らな山頂へ。視界なくすぐ下山。「丸山」21:35～24:00(2:25)小網口より往復。なだらかな山頂には笹尾根の標識。ここでも名月を楽しむ。犬に警戒されほえ声に集落に迷惑をかけてごめんなさい。

9/11(日)山梨東部 2 山 「槇寄山」6:00～8:25(2:25)郷原バス停より西原峠経由で往復。登山道は落ち葉の絨毯で歩くのが心地よし。山頂は展望よし。「奈良倉山」9:10～11:15(2:05)鶴峠より往復。JTの森と杉・ヒノキの植林地が好対照。多摩水系と相模水系の分水嶺を経て松姫峠からの登山道と合流して山頂へ。平らな山頂で雲で富士が拝めず残念。

3 連休北八ヶ岳 10 山、山梨東部 1 山 9/17(土)雨時々曇り「茶臼山」山頂 13:00、「縞枯山」同 13:45、「三ツ岳」同 14:55 麦草峠より縦走往復。12:10～17:30(5:20)大雨等蟻、懸念したが曇り空のため出発。茶臼は平坦な山頂、縞枯は周りが立ち枯れの多い平坦な山頂。三ツ岳は岩歩きが楽しめ、山頂も大きな岩。往復とも小降りで助かる。9/18(日)晴れ昨夜の大雨から一転急に天気回復。「八子ヶ峰」5:10～6:20(1:10)蓼科登山口の道路向かいの登山口より往復。山頂はなだらかな丘で雲で視界今ひとつ。「横岳」山頂 9:25「双子山」同 11:55 竜源橋より周回縦走 6:30～13:55(7:25)駐車場のある端の袂より、天祥寺平・亀甲池を経て横岳へ。途中急に青空が広がり、朗らかな気分で軽快に山頂。南ア、北ア等 360 度のパノラマが最高。大岳、双子池を経て双子山。平坦で広い山頂。大河原峠を経て天祥寺平を経て戻る。大岳周辺の岩歩きと亀甲池、双子の雌・雄池が面白い。「高見石」山頂 15:25「ニュー(乳)」同 16:55「稲子岳」白駒口より周回。14:50～19:55(5:05)高見石は大きな岩が愉快。展望よし。ニューは初心者向けの平坦なところが多い。頂上の反対側は絶壁で展望よし。ここで戻れば日没に間に合うが、偵察で稲子への道を探し、山が見えたので入り口を探すと赤テープあり、少し下ると道が見え、行けると踏んで歩き出す。山は以外と遠く、

なだらかな山頂(明確でない)で日没となり、乏しい食料を睨みつつも、ライトに寄る虫たちを払いながら下山。今日は1日お疲れでした(延べ14時間山歩き)。9/19(月)晴れ北八「冷山」麦草峠側より往復。5:20~8:00(2:40)今日も好天で苔生した原生林の登山道を軽快に丸山分岐まで行きあとは、道がないところをテープを頼りに山頂へ。山頂は特別に標識なく木立の中で展望なし。下りは道に迷いつつ元の登山道へ出て戻る。安易に考えた山だが、懐は深い。山梨西部「斑山」見本寺より周回。11:05~12:30(1:25)登山道不明で地元の人でも明確にわからず、きのこの山と登山口らしいところを教えてもらい往復。松が多く、手入れも行き届いており、明確な道がなくとも歩きやすく、急坂を上り下り。山頂は樹林の中で展望今ひとつ。帰りの渋滞を恐れすぐ帰途へ(3連休最終日で渋滞が続き6時間運転し続けてくれた)。

3連休車の渋滞を避けつつ山歩き。八ヶ岳を満喫。9/23(金)曇り桜平より夏沢鉱泉・オーレン小屋を経て周回。「峰の松目」山頂 13:45、「硫黄岳」同 14:55 12:00~17:30(5:30)林道終点近くまで行き駐車、車が多いことに安心して入山。整備された登山道を歩き、オーレン小屋より峰の松目へ。八つの山が見えるはずが、樹林と雲で全容は見えず。赤岩の頭を経て硫黄岳へ。山頂が平らで登山者多し。岩峰の面白さを楽しむ。夏沢峠・箕冠山・根石岳を經由し荒れた登山道をオーレン小屋へ出て下山。9/24(土)晴れ八ヶ岳中心部を縦走。「御小屋山」山頂 6:05「阿弥陀岳」同 7:40、「権現岳」同 10:45、「三ツ頭」同 11:25「編笠山」同 13:10「西岳」同 14:20 舟山十字路から赤岳・中岳・キレット・6山を経て広河原より戻る。5:00~17:00(12:00)阿弥陀前後・赤岳前後急坂で岩を楽しむ。どこも展望が最高。富士、北ア、南ア、御岳、中ア、八ヶ岳連峰等。人も多し。編笠は大きな岩歩きを楽しむ。広河原への下山路は人もいなく道も危うく少し不安を覚えたが無事林道に出て川を2度渡渉し山葡萄を楽しみつつ戻る。天候・景色とも最高の1日。9/25(日)晴れ山梨西部2山「横尾山」5:25~7:25(2:00)信州峠より往復。山頂で縦走者に偶然会う。なだらかな尾根筋を朝日を浴び、笹露に濡れながらも心地よい山歩き。「飯盛山」平沢峠より往復。8:10~9:40(1:30)観光で整備された分水嶺の峠より牧場・スキー場の上にあるなだらかな丘の山頂へ。周囲を散策し、平沢山経由で下山。ファミリー向けの山。渋滞避けるため山歩きを早めに切り上げて帰る。

9/30 夏休みの3連休、南アルプスへ。9/30(金)小雨 南ア3山「甘利山」山頂 9:25「千頭星山」同 10:55「辻山」同 13:50「甘利」登山口より縦走往復。9:10~17:40(8:30)曇り空の中ゆっくり歩き甘利山頂。平らな丘で雲の中。笹露あり雨具をつけ、奥甘利、立派なモミ植林地、笹原を過ぎ小高い丘の樹林にある千頭星へ。そこから大馴鹿峠(笹原)への急坂を慎重に下り、樹林の急坂をゆっくり進むと夜叉神峠からの道と合流した苺平。辻山はそこからすぐ。山頂は樹林の中で少し進むと展望よいが今日は雲が

邪魔。下りも誰にも会わないルートを往復。10/1(土)晴れ南ア北隣3山「日向山」山頂 7:45「鞍掛山(標高 2047m)」同 9:35 尾白溪谷駐車場より周回。6:00~12:35(6:35)若い人の速さに気おされ急ぎ足でハイキングコースから日向へ。砂地の山頂で八ヶ岳の展望良い。やせ尾根、急坂を登り大岩分岐より鞍部に下りて絶壁に近い急坂を登り鞍掛山頂。樹林の中で視界なし。来た道に戻り、やせ尾根を巻き道から錦滝へ降りて林道に戻る。途中がけ崩れを見て、山葡萄・さるなしを楽しむ。「雨乞岳」日向より優美に見えた山で登山口わからず、道の駅のマップを見て登山口へ。峠より往復。14:15~17:20(3:05)コースタイムでは、頂上で暗くなる予定だったが、自然保護エリアで登山道の整備がされ軽快に歩き、カラ松林と笹原をとおり山頂へ。山頂より日向等見れて満足。急ぎ足で日没前に無事下山。久しぶりに今日は1日急いだ山歩き

10/2(日)南ア2山曇りのち晴れ「高谷山」5:25~7:20(1:55)夜叉神峠口より登り分岐を経て高谷。山頂樹林の中で視界なし。御殿場から来た100名山を目指す方(今年始めて27山)と分岐まで同道。驚くべきスピード・スタミナに脱帽しながら話を聞き、4000名山をPR。分岐より夜叉人峠へ出て白根3山が一瞬見れて満足し下山。「旭山(苗敷山)」9:05~10:10(1:05)登山口がわからず、地元の人に聞いて概略を理解し甘利への道を栗平より林道に入り、穂見神社のゲート口に車を止め出発。神社までは立派な林道。そこから目印等なく、小高い丘に出て林道を横切り、境界標識等を辿り、伐採地を経て境界を目安に登ると三角点のある山頂。樹林の中で視界なし。来た道に戻り、途中立派なモミ林を見ながら下山。早いが予定の山を登り帰途へ。

10/8~10/10 3連休、南アルプス7山 天候晴れ 10/8(土)奈良田駐車場より農鳥小屋 10:05~17:10(7:05)交通規制のため、丸山林道口の駐車場から林道の終点より登山道へ入り沢沿いに大門沢小屋・下降点分岐・農鳥岳を経て農鳥小屋。山頂は雲で視界なく、標高差2kmある登りは体力的にきつかった。寒いので小屋に泊まり、食事も戴き助かったが、夜毛布2枚では寒かった。10/9(日)塩見手前まで行き、間ノ岳を回り農鳥小屋連泊。「安部荒倉岳」山頂 7:30「北荒川岳」同 8:55「新蛇抜山」同 10:05「三峰岳」同 13:00 5:10~14:30(9:20)小屋からトラバースルートで水場2ヶ所を経て三国平。下って熊ノ平小屋の上の藪の頂点まですこし無理したウォーミングアップ。尾根筋に登山道に戻り、安部荒倉へ。同山頂含め全ての山が展望よし。尾根筋を黙々と進み塩見手前の三角点のある北荒川を確認して戻る。通り過ぎた新蛇を探し標高等で確認。閉鎖している熊ノ平小屋・三国平を経て立派な標柱のある三峰山頂。ここまでは静かな山。間ノ岳は、北岳からの登山客等で賑わい、人の少ない農鳥小屋へ。昨日と違い早めに連泊の手続き。同室となったし静岡のJACの方に南アルプスの情報いただき感謝。今日は持参した寝袋使い暖かい夜を過ごす。

10/10(月)農鳥小屋より笹山登山口、吊り橋を経て奈良田へ下山。5:10~12:50(7:40)「広河内岳」山頂 7:10「大籠岳」同 8:05「笹山」同 9:35 薄明かりの中出発。来る

時通り過ぎた西農鳥岳山頂を確認し、農鳥岳を経て今回の目的の 1 つである東の尾根筋の大唐松山の入り口を探したが目印なく、尾根筋に行けそうだが、かなりの藪漕ぎを強いられる山でいつか来たいが夢で終わるか。かなりの情報収集と体力要。下降点分岐を南に進み、山容の良い広河内へ。山頂は風強いが今日の山もどこも展望は抜群。道を探しつつ尾根筋を行き、大籠、白河内岳、笹山北峰共に所有地を管轄する特殊東海製紙さまの標柱に感謝して山頂を確認。富士、北・間・塩見・甲斐駒・千丈・中央アルプス・八ヶ岳等 360 度のパノラマに大感激。笹山南峰より奈良田口へ下山。最初狭い急な斜面だったが、中腹より広葉樹と木漏れ日・沢の音が奏でる至上の山歩きを体感。言葉では尽くせない贅沢な下山ができ、登山道を整備してくれた方々と自然に感謝。

10/16(日)晴れ南ア 1 山、山梨西部 1 山「釜無山」7:25~12:10(4:45)大阿原湿原駐車場より往復。釜無林道からゲートを過ぎてなお進んだが、下り一方でおかしい。巡回パトの地元の人に聞きゲートが登山口と知らされトラック荷台にのせてもらいゲートへ。笹を掻き分けながら進むが道が判然としない。保安林の標識に出て道が開け安心。境界整備道に釜無の案内表示があり、道を笹が覆い隠す中掻き分けて平坦な山頂へ。下りは来た道と保安林表示より右へ下るとすぐ林道でガードレールの赤いと小さい木のテープが目印。カラマツの紅葉が見頃。「釜無」12:15~15:00(2:45)海岸寺上の峠より林道に入りと登山口の表示ある沢へ。判然としない道を尾根へ上り、さらにテープを目印に尾根を進むが、道迷いし尾根の横をトラバース後急坂を上り尾根筋に出て山頂へ。途中猪の親子連れ 6 匹を見かける。山頂直下は急坂。頂上はなだらかな広葉樹幹内だが日差し入り明るい。海岸寺山の三角点を經由して下山。

10/23(日)曇りのち晴れ南ア 2 山、山梨東部 1 山「源氏山」山頂 10:05「大峠」同 10:50丸山林道通行止めより周回。8:55~12:55(4:00)通行止めゲート、林道ゲートを経て登山口より入るが、林道と並行していて崩壊により林道と合流後に再度登山口あり、上るとすぐ分岐となり、トラバースしながら下り、上り返すと源氏山山頂。山頂は平らなしらびそ林の中で視界なし。分岐に戻り表示はないがしっかりした道を崩壊地を経て大峠山頂へ。1 等三角点があり樹林の中で視界今ひとつだが、カラマツの紅葉が見頃。ゲートへ戻り、三角点のある「丸山」に寄り道して下山。「烏帽子岳」本栖トンネル口より東海自然歩道から頂上、パノラマ台を往復。15:40~17:25(1:45)登山口わからず探し回り本栖湖より上る。広葉樹の森、整備された道、パノラマ台からの 360 度の展望(山々と湖)が楽しませてくれ、富士山の眺めもよし。薄暮に下山。

10/29(土)岩手中部 1 山「蓬森」16:50~17:30(0:40)松ヶ沢林道峠より少しくルマで入り林道歩き。山頂 2 ヶ所探し諦めかけた時、三角点表示にて山頂を確認し下山。闇と

霧で視界なし。なだらかな山頂。10/30(日)岩手中部 1 山「和佐羅比山」晴れのち曇り上戸鎖より林道はいるがすぐ荒れて通行止め表示。やむなく林道を歩き、女和佐をヤブ誇示して上り、和佐羅峠を経て男上り下山。

11/3(木)山梨東部 2 山曇り「竜ヶ岳」山頂 11:40「雨ヶ岳」同 13:00 本栖湖畔より往復。10:35~16:20(5:45)湖畔に駐車し遊歩道より竜ヶ岳山頂へ。紅葉見頃。暖かく虫が多い中、山頂は人ばかり。富士山の眺望よく、格好のハイキング日和。尾根づたいに端足峠まで下り、急坂を上り返すと雨ヶ岳山頂。富士に傘雲が出てきた。少し先に高い山あり、足を伸ばすと「藪山」という表示あり。毛無山が見えたが、予定どおり下山。一日中曇りだったが、富士、本栖湖、紅葉はよかった。11/5(土)南ア 1 山「大唐松山」7:00~16:55(9:55)奈良田の丸山林道口駐車場より往復。10 月連休時農鳥側からのアプローチは大藪で困難なため、ネットで揚水発電側より歩いた人々のルートで挑戦。広河原へのトンネル手前の農鳥への林道ゲートの先にある祠の脇より入る。揚水発電の導水管上部までは、整備された道、その後電線の下をたどり、尾根づたいに白・赤のテープを目安に進み、「雨池山」三角点・山頂を経て広い笹原から山を 2 つ越えるとさらに高みに大唐松が悠然と現れた。鞍部まで降りるが山頂への急坂は、岩、やせ尾根、ガレ場で道探し等苦労し何とか山頂へ。山頂は三角点と色あせた多数の表示板あり。白根三山の眺めが最高。小休止後最高地点まで行き下山。下りは安心してテープを目安に進む。行きと違う道を歩き少々戸惑ったが、無事広い笹原に出て雨池を過ぎ下山すると以外に急な坂によく登ったな感心しきり。電線の終点の手前で間違えた尾根を降りるところだったが、電線を思い出し、すぐ電線終点にたどり着き、電線に沿って下るも、急坂で頼りなく立ち木を足止めにしてゆるゆる降り、無事祠へ。もみじの赤の紅葉が鮮やかで終始下山はカラ松の紅葉ともども目を楽しませてくれた。最後小雨に降られたが、安定した天気と先人の歩いた山道とテープに感謝。行けるか不安だった「大唐松」へ明るいうちに行って来れて大満足。バンザイ。

11/12(土)鈴鹿 2 山晴れ「宮指路岳」9:40~12:00(2:20)通行止めの太石橋口より往復。沢沿いに歩いて小岐須峠を経て山頂へ。なだらかな山頂で展望もよく奇岩多し。同じルートをくんだり、鈴鹿の谷を楽しむ。「入道ヶ岳」12:20~15:15(2:55)小岐須峠駐車場より滝ヶ谷、池ヶ谷コースを経て山頂往復。滝ヶ谷は、道が不明瞭で急坂あり、あえぎつつ尾根出て池ヶ谷コースは小さな沢歩きを楽しみ、草原の山頂へ。若人多くにぎやかな山頂で、伊勢湾の展望は絶好。最高点を踏んで下山。下りも谷を楽しむ。やまゆき会例会で宮妻峠ヒュッテ泊。

11/13(日)鈴鹿「仙ヶ岳」晴れ 7:55~16:30(8:35)やまゆき会例会 14 名で林道から南尾根コースの急坂、岩登りを満喫して奇岩の多い山頂へ。東峰を経て最高点のある西峰へ。好天で展望は言うことなし。下りは御所谷・白谷道と合流して溪谷の急坂、危う

い木橋、狭い登山道を黙々と歩き無事登山口に戻り、全員かなりの安堵感を共有。メンバーに感謝。

11/20(日)富士 5 湖 2 山晴れ「三方分山」9:20～11:30(2:10)精進湖の県営駐車場より周回。女坂峠を経て平らな山頂で富士、精進湖の眺めを楽しむ。三角点のある「精進山」、精進峠を経て赤い紅葉を楽しみながら下山。「王岳」11:55～15:50(5:55)根場浜より周回。林道を経てカラ松のつづら折れの道を歩き縦走路へ出るとすぐ山頂。富士の眺め良い。縦走路を鍵掛峠を経て岩の面白い「鬼ヶ岳」、富士と西湖の絶景が見れる「雪頭ヶ岳」を経て尾根筋を下山。11/23(水)西丹沢 1 山晴れ「畦ヶ丸」6:45～13:20(6:35)西沢口より往復。沢と岩と紅葉を楽しみながらなだらかな尾根筋を経て山頂。山頂は樹林の中で避難小屋を経て下山。本棚、下棚で滝をめで、やせ尾根の「権現岳」から丹沢湖の眺望を楽しみながら下山。

11/26～27(日)晴れ時々曇り南ア最深部 4 山「中ノ尾根山」山頂 15:30、「合地山」同 4:05、「鶏冠山南峰」同 9:25、「白倉山」同 12:25 出遅れて白倉林道通行止めに 10:20 着、10:55 手前駐車場より林道歩きで白倉橋を越え、中ノ尾根山登山口まで 2 時間。急斜面と雪の付いている笹を掻き分け尾根へ出て、さらに膝位の笹藪を尾根伝いに行き中ノ尾根山頂。雪とシラビソ林の中にあり、方向を確認して迷いなく、東方角の合地山へ向かう。ただ日没で尾根のアップダウン歩きは雪あり慎重に進むが、体力・根気の限界で I 峰でツェルト泊。天候荒れず助かる。11/27 2:50 起床し 3:40 発。一山ですぐ合地山最高点に到着。一つ山向こうの三角点を目指したが、暗闇と目印不明で断念。中ノ尾根に戻り北の鶏冠を目指す。1 山越え「三又山」から尾根筋のアップダウンを繰り返す、岩壁の急坂を鹿の雪上の足跡を頼り右から回り込み鶏冠山頂着。付近でもっとも高い山のため、先へ進まず、三又山へ戻り、西の尾根へ。徐々に下り笹藪と倒木、シラビソに守られた白倉山山頂へ。来たルートを少し戻り急斜面を下り、途中トラバース気味に回り込み川原へ出て、溪流歩きを楽しみ白倉橋へ。あとは林道を 2 時間近く歩く。紅葉を楽しむと共に、次に目指す黒沢山、朝日山の登山口を確認しつつ下山。駐車場に 15:25 着。話とおりの深い山で誰とも会わず、鹿と笹と倒木と定期的に雪のある山で先人の目印と農鳥小屋で歩く勇気と情報を頂いた加藤氏に感謝。幸い今回は深い藪なく、天候にも恵まれ暖かく助けられた山行でした。

12/4(日)快晴 山梨東部西湖 3 山「十二ヶ岳」山頂 9:55「節刀ヶ岳」同 10:15 8:10～13:00(4:50)福住キャンプ場登山口より周回。尾根伝いに忘れられた山葡萄を楽しみながら縦走路に出るとすぐに十二ヶ岳山頂。富士・西湖の展望良い。急な岩場の下り、登り後「金山」を経て節刀の山頂。南アルプス等の展望良い。十二に戻り縦走路を十一へ。急な斜面を緊張しつつ一気に下り、揺れる吊橋をわたり上り返すと「十一ヶ岳」

後に十から一まで峰毎に表示あり、最後が三角点のある「毛無山」で河口湖から富士等見える絶景地。尾根伝いに下り、文化洞トンネル手前を右に曲がり旧通学路沿いの山道を歩き駐車場に戻る。山頂近辺は風があつたが最高の登山日和。「足和田山」13:40～15:40(2:00)紅葉台より緩やかな尾根を往復。山頂は展望台あり 360 度のパノラマで青空・富士・湖・樹海の青・白・緑が輝く至福の一時を楽しむ。

12/10(土)仙台東部 1 山「後白髪山」9:05～14:15(5:10)曇り 定義林道口より往復。登山口不明だが、林道沿いに進み、道と思しきところを歩いていると、テープの目印を見つけて雪の笹に濡れながら林道出合いの登山口へ。後は道がしっかりしてるので進むが思った以上に雪多く長靴でもひざ以上が濡れる。肝心の合羽を車に忘れ不安の中、横川岳を経て山をトラバースして、急坂を上ると横川コースと合流し尾根筋を濡れるのを気にしながら何とか山頂へ。風あり、雲で視界なく、来た道を下山し盛岡のワインの会に参加。誰にも会わない静かな山歩き。・12/11(日)晴れ岩手南部 1 山「氷上山」10:15～12:35(2:30)玉乃湯登山口より往復。整備された山で尾根に出ると表示あり、祠と山小屋もある。なだらかな尾根を早足で進み、海を眺めつつ山頂へ。山頂から大船渡・陸前高田の海岸線がきれいに見え、海に合掌。風強くすぐ下山。次に東北百名山の「徳仙丈山」を気仙沼口より往復。14:05～14:50(0:45)なだらかなハイキングコースでつつじの名山。二等三角点の山頂から気仙沼等海岸線がよく見え、海に合掌。

12/17(土)晴れ山梨東部 3 山「高畑山」山頂 10:45「倉岳山」同 12:10 9:55～12:45(2:50)無生野口より周回。穴路峠へ出て両方をピストン。尾根筋に天神山を経て高畑山頂。絶好の富士山の眺望。大桑山まで寄り道して、白い氷の花を楽しみ、峠に戻り倉岳へ。山頂は眺望良く、昼時でハイカー多くすぐ下山。「高柄山」13:05～15:40(2:35)大地峠トンネルより周回。リニア関連の工事でトンネル通行止めにつきトンネルより旧大地峠に出て丸山を経て高柄へ。山頂は展望良い。戻りに矢平山と甚ノ函山山頂を経て下山。心地よいハイキング。12/18(日)快晴山梨東部 4 山「九鬼山」6:15～8:10(1:55)池の山コースを往復。途中富士の展望良し。山頂は富士の反対側の展望良く、朝日、富士共に満喫し下山。「杓子山」山頂 10.25「倉見山」同 13:00「高座山」同 15:55 不動の湯口より林道を歩き大権首峠より杓子山頂へ。山頂からの富士は格別。杓子より標高の高い鹿留山をピストンし倉見への急坂・やせ尾根を慎重に往復。倉見からも富士の展望良し。3 度目の杓子山頂より峠へ下り四等三角点の高座をピストン。戻ると富士と夕日がきれいに見えた。峠より再び林道を下山し薄暮に登山口。2 日ともハイキングに最高の日和で、富士、朝日、夕日、青い空、山陵を十二分に楽しむ。

12/23(金)東丹沢 1 山「三峰山」11:20～16:40(5:20)曇り、林道ゲートより不動尻・キャ

ンプ場から沢を楽しみ急坂を上り、尾根筋より急斜面の 2 山を越えて山頂。丹沢連峰の眺め良し。尾根筋から主峰の大山(2 回目)に寄り道して下山。両山共結構登山客あり。12/24(土)丹沢 1 山「三ツ峰」宮ヶ瀬登山口より縦走往復。晴れ 10:00~16:40(6:40)吹風トンネル口駐車場より登山口に出て、高畑山を越え「本間ノ頭」「円山木ノ頭」「太礼ノ頭」へ。足を伸ばして瀬戸沢ノ頭、主峰の丹沢山まで行き景観を楽しみ下山。途中御殿森ノ頭に寄る。晴天だが、風あり冬型の天気。12/25(日)湯河原 1 山「幕山」晴れ、公園口より周回。梅園・ロッククライムの練習場を過ぎつづら折れの道を進み山頂。山頂は草原で海・島等の眺め最高。南郷山に寄り鎌倉幕府開運街道を歩き下山。風強い冬型の天気だが、心地良い天気。これで今年はお納めか・・・12/31 は天気どうか？

12/31(土)伊豆半島 6 山曇りのち晴れ「玄岳」8:10~8:30(0:20)笹を掻き分け山頂。海の眺めよい。滝知山を経て「巢雲山」9:05~9:20(0:15)一等三角点の草原の山頂。「大室山」10:15~10:45(0:30)私有地で登山禁止のため、リフトにて上がり周回。天城連峰の眺め良し。「達磨山」12:20~12:50(0:30)戸田駐車場より往復。晴れ ならかな山頂から西伊豆の海岸線の眺め良い。伽藍山を経て「猫越岳」13:30~15:00(1:30)仁科峠より往復。後藤山を経て常緑樹林の中の山頂。下りに西伊豆の眺めを堪能。「葛城山」16:05~16:45(0:40)当初予定になく日没近く登山口不明なため、往復ゴンドラ利用。山頂からの夕日と海岸線の眺め良い。